

◆調査結果の概要

●通勤・通学先について

(1) 通勤・通学先

通勤・通学先は、「東京都」が43.9%と最も高く、以下「茨城県」(17.8%)、「神奈川県」(14.0%)、「千葉県」(11.9%)、「埼玉県」(11.7%)となっている。

(2) 現在の通勤・通学時間

現在の通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が36.0%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(19.4%)、「15分～30分未満」(18.8%)などとなっている。1時間以上は、合計で3割弱となった。

(3) 許容できる通勤・通学時間

許容できる通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が49.1%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(25.1%)、「15分～30分未満」(14.3%)などとなっている。1時間以上は合計で3割強と、現在の通勤・通学時間(同26.8%)に比べて高くなっており、許容時間が広がっている。

●休日の過ごし方について

休日の過ごし方は、「買い物」が58.3%と最も高く、以下「インターネット」(33.6%)、「何もせず休養する」(27.3%)、「観光、レジャー」(26.6%)などとなっている。

●定住について

(1) 親の近くへの居住意向

「将来、親の近くに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う(思う+やや思う)」が66.7%、「思わない(あまり思わない+思わない)」が26.6%となった。

(2) 生まれ育ったまちへの居住意向

「生まれ育ったまちに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う(思う+やや思う)」が51.0%、「思わない(あまり思わない+思わない)」が42.7%となった。

(3) 定住したい場所

定住したい場所は、「東京都」が26.3%と最も高く、以下「神奈川県」(16.2%)、「千葉県」「茨城県」(12.8%)などとなっている。

(4) 定住したい場所を選んだ理由

定住したい場所を選んだ理由をみると、「その場所をよく知っているから」が54.2%と最も高く、以下「親や子どもが近くにいるから」(26.2%)、「公共交通の利便性が高いから」(24.3%)などとなっている。

一方、「子育て施策が充実しているから」、「災害に強いと思うから」、「医療福祉が充実しているから」、「自治体の税制優遇があるから」などは低くなっている。

(5) 希望する居住形態について

希望する居住形態は、「注文戸建住宅（新築）」が 54.6%と最も高く、以下「新築分譲マンション」（42.2%）、「分譲（建売）戸建住宅（新築）」（34.8%）などとなっている。

(6) 住宅購入を検討することになったきっかけ

住宅購入を検討することになったきっかけは、「結婚」が 22.0%と最も高く、以下「賃貸の契約更新時期だから」（18.9%）、「消費増税が迫っているから」（14.3%）などとなっている。

(7) 住む場所を決める際に重視すること

住む場所を決める際に重視することは、「通勤先・通学先との距離」が 44.6%と最も高く、以下「公共交通の利便性」（39.7%）、「不動産価格」（35.8%）などとなっている。

一方、「住宅関連の助成」（2.1%）や「保育園への入りやすさ」（1.4%）の比率は低くなっている。

(8) 住宅購入のための情報収集手段

住宅購入のための情報収集手段は、「住宅情報のホームページ」が 40.0%と最も高く、以下「新聞折り込み広告」（22.0%）、「住宅情報雑誌」（20.3%）などとなっている。

●我孫子市について

(1) 我孫子市のイメージ

我孫子市のイメージをたずねたところ、「思う（そう思う＋ややそう思う）」と回答した比率は「自然豊か」（61.0%）が最も高く、次いで「地価が安い」（48.9%）となっている。

「思わない（あまりそう思わない＋そう思わない）」が「思う（そう思う＋ややそう思う）」を上回っているのは、「都心に近い」、「買い物が便利」などとなっている。

(2) 我孫子市について知っていること

我孫子市について知っていることは、「常磐線が通っている」が 43.8%と最も高く、次いで「千代田線始発駅である」が 28.1%、「成田線が通っている」が 24.9%と鉄道に関する認知度が高い。

地域資源に関するものでは「手賀沼がある」が 24.6%、「手賀沼花火大会を開催」が 10.8%などとなっている。

また、我孫子市が力を入れている「保育園の待機児童がゼロ」、「小学校の学童保育の待機児童がゼロ」、「医療費助成が中学3年まで受けられる」などの子育て支援施策についての認知度は低くなっている。

なお、我孫子市について「知っていることはない」の比率が2番目に高く、4割近くを占めている。

(3) 我孫子市への居留意向

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）をたずねたところ、「思う（思う＋ややそう思う）」と回答した比率は 18.5%にとどまり、「思わない（あまり思わない）＋（思わない）」と回答した比率は 81.5%と 8 割強を占めている。

(4) 我孫子市への居留意向を選んだ理由

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）を選んだ理由をみると、候補地となる理由では、「公共交通の利便性が高いから」が 6.1%と最も高く、以下「通勤・通学に便利だから」（5.4%）、「自然環境が良いから」（5.3%）などとなっている。

一方、候補地とならない理由では、「イメージがわからないから」が 39.0%と最も高く、以下「通学・通勤に不便だから」（27.1%）、「親や子どもが遠くにいるから」（16.2%）などとなっている。

●行政サービス・事業について

(1) 住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業

住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業は、「転入に対する税制優遇や補助金」が 43.0%と最も高く、次いで「駅に近く利便性の高い住宅の整備」が 33.8%、「子育て世代への税制優遇や補助金」が 28.1%などとなり、全体的に助成金に対する要望が高くなっている。

(2) これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業

これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業は、「特になし」が 82.4%と最も高くなったものの、「東京都」の行政サービス・事業を回答した比率が 6.1%、次いで神奈川県（2.9%）などとなっている。